

おたがいさまニュース

第2号 2015.9.9

発行：南医療生協

おたがいさま運動推進委員会

地域ささえあいセンター

052-625-0650 (Fax0653)

298名のおたがいさまサポーターが誕生



～組合員さん 179 名、職員 119 名～

8月から9月にかけて、多くの組合員さんのブロック・支部や職場で開講中です。まだ開講されていない、支部・職場のみなさん、急いで開講しましょう。

地域でのくらしの中では、小さなおたがいさまがたくさん、そしてドラマもたくさん生まれています。ひとりでも多くの方がサポーターの一員になって、おたがいさま

運動へ参加しましょう。

(出された意見)

- ・困りごとを出してもらえるには、日頃からの人との交わりが大切だね
- ・マンションでも心配なお年寄りがみえるのでこのようなことがきっかけで声かけられると思う。

(質問)

- ・おたがいさまシートを記入したその後、どうなったかが不明・・・どこに問い合わせればいい？
→地域ささえあいセンターへ問い合わせてください。お願いした先に問い合わせお答えいたします。
*できれば、対応をお願いされた方が進捗状況をご報告いただけると幸いです、まだその運用がうまくまわっていません。

おたがいさまサポーター講座資料

- ・組合員さんの講座のための資料は地域ささえあいセンターが準備いたします。
- ・職場での開講は、資料は南生協共有フォルダー→「おたがいさまサポーター講座資料」に入っています。

おたがいさまサポーター講座では

- ①おたがいさま相談の手引きを学習します
- ②おたがいさまサポーター認定証を授与します
- ③おたがいさまサポーターキーホルダー「ほっとけん」
(200円)をできれば購入していただき、バッグなどにつけます
- ④『困ったときはおたがいさま』の家」の看板を掲示できるところに掲示します

※上記②～④を地域ささえあいセンターで取り扱っていますので、ご用命ください。

おたがいさま

383件
2015年度 77件

7/29 情報提供者(シート記入者)は、緑ブロックのY理事さんです。近所の健康の友を配っているお宅のKさん86歳は、藤田保健衛生大学病院でペースメーカーの手術を控えて、これまで何度も救急車を呼んでいるので不安に思われている。「ひとり住まいなので手術までと手術後の生活も不安」、とお話をうかがった。その後、入院中もお見舞いに行き8/19に退院されるまで、何度となくK様のお宅を訪問してお話しをお聴きした。

回復も思いの外順調で安心されたKさん。Y理事に感謝の気持ちをくださった。

きっかけは?「ちょっとした声かけからです。」

